

第34期（令和5年度）の事業計画書  
（令和5年4月1日から令和6年3月31日まで）

1. 自転車に関する調査分析

毎年「調査分析テーマ」を決め、調査分析結果の発表会を館内で開催します。

今年度は、2つのテーマを予定しております。

1つは、堺の近代自転車史に知識豊富な武田自転車（株）社長の武田正氏と奈良県立大学准教授の山部洋幸氏に「1970年代以降の堺の自転車産業」について共同での調査分析を依頼します。

もう1つは、自転車史に詳しい自転車関連ライターの松本敦氏に「新製陸舟奔車」について調査分析を依頼します。

2. 自転車に関する普及啓発

(1) より多くの市民に、自転車に乗ることで楽しさを実感し、自転車の有効性を理解・認知してもらうことによって自転車志向を高めていきます。

- |                                 |        |
|---------------------------------|--------|
| ① マウンテンバイクツーリング                 | 年間4回実施 |
| ② ロードバイクスクール（ロードバイクの初心者スクール）    | 年間4回実施 |
| ③ 自転車ライフ体験セミナー（スポーツバイク取り扱いセミナー） | 年間4回実施 |
| ④ 自転車散歩：10km程度を楽しみながら走行         | 毎月1回実施 |
| ⑤ 健康サイクリング：20－30kmを健康のために走行     | 毎月1回実施 |

(2) 堺市の「堺市環境共生まちづくり企画運営委員会」の副委員長にシマノ自転車博物館事務局長 岡田重勝氏が就任し、引き続き活動していきます。また、その下部組織の「堺自転車のまちづくり・市民の会」に参加して、自転車利用マナー向上活動並びに自転車のまちづくりに協力します。

3. シマノ自転車博物館の運営

(1) クラシック自転車等の収集・収蔵・展示

常設展示として、

「自転車のはじまり」自転車の黎明期と発展期を彩る自転車を展示しています。

「自転車のひろがり」展開期を代表する多様な自転車をテーマごとに展示しています。

「自転車とこれから」サステナブルな社会に向けて豊かなくらしに貢献する自転車を展示しています。

(2) 特別展「ロードバイクの進化」展を4月11日より約1年間行います。

(3) 関西サイクル・スポーツセンター及び各地の自転車展示館等の展示に協力  
関西サイクル・スポーツセンター内の啓発展示室に自転車（オーディナリー他）5台を継続して貸出します。

(4) 当館の収蔵する自転車、部品、用品、資料の整理とデータ蓄積を引き続き行います。また、図録の電子化も行っています。

(5) 各種講演会・講習会で自転車の有効活用等を発信します。

(6) 第32回夏休みこども絵画コンクールの実施

絵を描くことによって自転車のしくみを理解すると同時に、自転車の社会的役割を思考する機会を提供するために、次世代を担う子ども達の応募継続に取り組みます。

昨年の応募作品は、33,271点でした。

(7) 第16回こんな自転車欲しかったんコンテストの実施

平成17年から3年間協力したキャリア教育プロジェクト「こんな自転車欲しかったん」を受継いで、博物館主催の自転車企画コンテストを平成20年に開始し、今年も引き続き実施します。昨年の応募作品数は、1,846点でした。

(8) 手作りおもちゃ教室

博物館を会場として開催することで、地域住民の方々に少しでも自転車への理解や関心を深めていただくことを目的に年間4回行います。

(9) 文化庁の呼びかけで「関西文化の日」として文化力による関西復興の呼びかけがあり、11月に2日間無料開館を実施します。

#### 4. 自転車ひろばの運営

(1) クラシック自転車レプリカ体験試乗

一般の方は毎月1・3・5土曜日、2・4日曜日と祝日に実施します。

(2) 自転車乗り方教室

毎月2・4土曜日と1・3・5日曜日に実施します。

(3) 堺市内の支援学校を対象とした、自転車乗り方教室を実施

百舌鳥支援学校と上神谷支援学校の校庭で乗り方教室を実施します。

(4) こども自転車安全教室と大仙公園サイクリング

自転車に乗れる5歳から10歳までの子どもを対象として、堺警察署と合同で交通安全講習と実技を行い、最後に全員で大仙公園内をサイクリングします。

(5) 堺市内の小学校を対象とした、自転車安全教育活動の支援

堺市内の小学校に、学校での自転車交通安全教育に使用していただく為に、ひろばで所有している自転車を貸出します。

(6) 自転車ひろばまつり

11月の文化の日に、無料でクラシック自転車レプリカ体験試乗を実施します。